

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係

令和4年10月20日 / No.1

「ありがとう。」

カーテンを進んでしめてくれる子に、「ありがとう。」とやさしく心のこもった声で言っている子がいたので、やさしいなと思いました。きっと、カーテンをしめた子も、心があたたかくなったと思います。すてきです。

「ありがとう。たすかったよ。」

ぼくが一番うれしかった言葉は、「ありがとう」です。この言葉は、お母さんが、コロナにかかった時の言葉です。お母さんは、ぼくたちとかくり生活をしていました。お母さんがコロナにかかっているから、ぼくと兄ちゃんだけで料理を作っていて、お母さんが「ありがとう。たすかったよ。」と言ってくれました。その時、ぼくは、とてもうれしかったです。毎日、お母さんが、料理をしているので大変なところもありましたが、「ありがとう。」の一言が一番うれしかったです。

今年もあったかい気持ちになるたくさんの応募を頂きました。
素直な声が心を癒してくれます。

「ありがとう」「ごめんね」

ままに、「ありがとう」「ごめんね」はみんながなかよくなる、まほうのことばだとおしえてもらいました。だから、けんかをしたらあとからでも「ごめんね」をいいます。

「いっしょに オニやるよ!!」

わたしは、はしるがにがてなので、おにごっこがあまり好きではありません。オニになるとずっとオニだからです。でもいつもたすけてくれる友だちがいます。「いっしょに オニやるよ!!」と言ってくれるので1人じゃないと思えるし、おにごっこをしていてもつらくないです。いつもたすけてくれる友だちがいるから学校が大すきです。

「上をもって手首を倒すと 書きやすいよ。」

私が上手くコンパスで円をかけなかったときにずっと隣に来て、「上をもって手首を倒すと書きやすいよ。」と教えてくれました。苦手なコンパスも上手にできるようになり、心が温かくなりました。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。